

事業所名

かがやきこども園 単位2（重心型児童発達支援、放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

2024年

12月

1日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> 利用者一人ひとりのかけがえのない笑顔と想いを大切に、安心した生活が送れるよう支援し、家族・地域の方々から信頼され、「自分の家族を入れたいと思う」法人を目指している。 重症心身障がいや医療的ケアが必要な方が地域で安心して暮らしていくための拠点事業所となる。 								
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 主治医、学校、行政、他事業所と情報共有し、安全な医療的ケアのもと「日常生活」（食事、入浴）や「活動」（人との関わり、運動、認知など）を軸に支援する。個々の表情やしぐさ、体のちょっとした緊張具合を観察してよみとりリラックスして過ごせるよう支援する。 地域と連携しながら家族の就労や休息を支援する。 								
営業時間		9時	0分	から	16時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握と対応（きめ細かな観察と適切安全な医療的ケア）。 生活リズムの安定（食事、入浴、睡眠、排泄）、家庭や学校との情報共有。 囑託医の訪問指導。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 場面に合った姿勢の保持、ポジショニングの配慮。関節の変形や拘縮の予防。 感覚の活用（五感への働きかけ、感覚遊具の活用等）。個々の持つ感覚にわかりやすいアプローチを行う。 福祉会の資源（わくわくヒルズ、体育館、グラウンドなど）を活用し、祖大運動、微細運動の両方にはたらきかけていく。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や制作、行事を通して認知や環境、行動等の発達を促す（興味、知識、季節、感触等）。 五感への働きかけで、児をとりまく環境の認知の形成を図る。 遊びを通して興味関心を引き出し、選択や視線・身体動作の表出場面を設定しながら、遂行や成功体験へとつなげていく。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 人との関わりを通して基本的なことばの認識を図り、自発的な発信（声、動作、視線等）や感情の表出を促す。 その場の環境や相手の状況に応じて働きかけ、個々の主体的な発信を受けとめながらコミュニケーションの展開をする。 音楽鑑賞や本の読み聞かせ、紙芝居等で聴覚、視覚などの感覚を活用する発達を促す。 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人と信頼関係を築きコミュニケーションを図ることで、人と関わる力を養う。 同年代の友達と関わりながら楽しさを共有し、自己、他者への認識を深める。 地域施設などへ出かけるレクリエーションを通して、社会性を培う（マナーやルール）。 								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 家族の困りごとに寄り添い相談援助を行う。 家族の休息、リフレッシュの時間の確保や、就労などによる預かりニーズ、送迎サービスに対応する。 保護者どうしの交流の機会を提供する。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 学校などへの情報共有。 就学や卒業に伴うライフステージの切り替えに向けた準備や連携。 同年代の仲間たちとの交流。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 関係する学校や保育園、放課後等デイサービス、児童発達支援事業所、相談支援事業所に様子を報告するなど情報共有し、密な連携を図る。 地域の連絡会や会議に参加する。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 研修各種（医ケア、てんかん、虐待防止、接遇、キャリアパス、感染予防など） 支援の中での気づきや変化について職員間で検討会を実施し共有する。 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 季節に合わせた行事（夏祭り、野菜の収穫、ハロウィン、クリスマス、節分、進級お祝い会等） 外出レクリエーション 家族ぐるみで参加する福祉会全体のイベント 								